



THE NEWS LETTER

日本歯科審美学会

Japan Academy of Esthetic Dentistry

2011 Winter 2011年12月



Vol. 24

巻 頭 言

それぞれの専門性の総合力で学会の発展と国民の幸せを

日本歯科審美学会・副会長 武井典子



わが国は、急速に高齢化が進展する中、「美味しく食べ、楽しく話し、笑顔ある心豊かな健康長寿」が国民の願いです。そのためには、歯の寿命の延伸や口腔機能の維持・向上とともに健康的な表情や人間相互の優れたコミュニケーションを図るための歯科審美の支援が重要です。高度

に進歩した文明社会では、他人に不快感を与えないことが文明人のエチケットであり、自信を持って生きることへもつながります。

筆者らによる社会審美的調査では、将来の審美性の育成に向けての子どもに対する両親の口腔保健への配慮の不十分さ、就業者の7割が現在の自分の口元に不満を持っていること、いわゆるホワイトカラーの7割が仕事上で口元の美しさの必要性を認識しているが、改善する行動には至っていないこと、高齢者では口元の審美性への意識が低いこと等が明らかとなり、この分野での啓発活動の重要性が示されました。

一方、近年では審美歯科の技術や治療は高度な進歩がみられ、その効果を一層高めるために、治療に先だって十分に健康な口腔状態を準備・確保すること、さらには治療後の「歯科審美の継続」のための口腔管理が不可欠です。このような意味で、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士がそれぞれ専門性を発揮して、患者さんや国民の皆様のお口の満足度の向上に寄与することが望まれています。一生を通して人間としての尊厳ある『Beautiful ageing』をそれぞれの専門性の総合力でサポートすることが重要です。

学会の発展のためにも、会員の皆様にはセミナー・学術大会等、積極的にご参加いただければ幸いと存じます。

第23回 日本歯科審美学会学術大会のご案内

第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会学術大会にむけて
北海道大学大学院歯学研究科 口腔健康科学講座 歯科保存学教室
大会長 佐野英彦



朝夕冷え込む季節になりましたが、皆様におかれましては、ますますご活躍のことと思います。当地札幌では例年になく、冬眠前に餌を求めるヒグマが札幌市街地へ出没する姿が目撃され、新聞、テレビ等に取り上げられています。本学講内では例年通り、本研究科横にある銀杏並木が、黄金色の輝きをましています。この銀杏の葉が落ちるといよいよ厳しい冬の到来となります。

さて、学会の準備状況を申しますと、去る平成23年7月28日に東京歯科大学におきまして第1回の大会実行準備委員会が開催されました。大会の概要が話し合わせ、各委員の先生から大会運営についての貴重なご意見を承り、それらを参考にして準備を進めて行くことになりました。

平成23年10月7日から9日まで奈良県新公会堂で開催されました第22回日本歯科審美学会学術大会に参加し、学会運営を視察させていただきました。大会長の末瀬一彦先生、実行委員長の山本一世先生、準備委員長の中村隆志先生におかれましては、お忙しい中、ご便宜を図っていただきまして誠にありがとうございました。大会のご成功を心からお喜び申し上げます。奈良では、学会中に開催されたAAADの会議に、次期大会のご案内と札幌市の紹介をDVDの映像で行い、アジア各国の委員の皆様にご好評をいただいていたと思っております。大会リーフレットの第2版が出来上がり、奈良の学会中に配布させていただきます。



第1回実行準備委員会



第23回大会実行委員(第22回大会会場にて)

ました。大会終了後には第2回の大会実行準備委員会が開催されました。前回の委員会のご助言をもとに立てられた計画についてさらに詳細に検討され大会運営の形がかなりでき上がって参りました。

現在、大会のホームページが立ち上がり、順次内容が更新される予定です。講演は今のところ9名の先生にさせていただき予定ですが今後増えることもあります。演題募集もそろそろ始まりますのでこちらの方もどうぞよろしくお願ひいたします。今回の予定ではポスター発表のみとなりますが、アジア歯科審美学会との併催ですので英語での発表となります。このような機会はなかなかございませんので、是非この機会にご発表についてご検討くださいますようお願い申し上げます。演題の申し込みもまもなくWeb上で公開になる予定です。

大会については以下の通りです。大会中の7月下旬の札幌は気候もよく、食べ物もおいしい季節です。冒頭で述べましたヒグマの出現の心配などはございませんので安心してご参加ください。



第23回大会リーフレット

.....
第12回アジア歯科審美学会・第23回日本歯科審美学会学術大会

【メインテーマ】 The patient's demands come first

【会 期】 2012(平成24年)7月19日(ウェルカムレセプション)・7月20日~22日

【会 場】 札幌コンベンションセンター(北海道・札幌市)

【大会HP】 <http://www.kokuhoken.jp/aaad12/>

【大会長】 佐野英彦(北海道大学大学院歯学研究科歯科保存学教室)

【実行委員長】 斎藤隆史(北海道医療大学歯学部う蝕制御治療学分野)

【準備委員長】 田中 享(北海道大学大学院歯学研究科歯科保存学教室)

学術大会報告

第22回 日本歯科審美学会開催報告と謝辞

大会長：末瀬一彦（大阪歯科大）

平成23年10月7日（金）～9日（日）に奈良市の奈良県新公会堂にて「第22回日本歯科審美学会総会・学術大会」を開催いたしました。「いにしへの都で審美を語ろう～温故知新～」の大会テーマに基づき、関西では6年ぶりの開催となりましたが、自然の美しさ、個性的な美しさを問う本歯科審美学会にとりまして、古都奈良は最適の場所であると考えました。

審美修復に関わらず歯科医療そのものが大きな変革期を迎えています。とりわけCAD/CAMテクノロジーやジルコニア修復は最も注目されています。CAD/CAMテクノロジーは、その昔、精密鑄造が世界の歯科治療を変えたように、画期的な要素を含んでいます。卓上型のCAMシステムの開発や口腔内スキャン光学印象は、工業界も参画してますます発展していくことでしょう。しかし一方では、器械を扱う人間には、形態学や機能学、色彩学などの基礎的な知識が重要視され、歯科医療の基盤を培っています。今回のテーマである「温故知新」はまさにこのような高度な治療と原点の重要性も鑑みています。

特別講演では奈良が生んだ世界的映画監督・河瀬直美氏と薬師寺管主・山田法胤師のお二人に話していただきました。河瀬氏には奈良の自然、奈良固有の美しさを語っていただくとともにレンズを通して見る奈良の奥深い審美を参加者にも感じていただきました。山田師には世界的遺産である薬師寺の魅力を通して日本人のもつ内面的、外面的美しさについて熱く語っていただきました。本講演は市民公開講座も併催させていただきました。

今回のテーマに基づき4つのシンポジウムを設けました。その1つは「インプラント埋入時期と審美性」（講師：南 昌宏先生、中田光太郎先生、日高豊彦先生）で、インプラントが高い予知性をもつ欠損補綴として確立されてきたが、審美性を考慮する場合には術前の診断の重要性、咬合と炎症のコントロールが適正に行われることが成功の鍵であることを示されました。

2つ目は「より美しい個性美をめざして」（講師：山崎長郎先生、石井さとこ先生、西村好美先生）で、個々の患者に適した自然美を求めるためには、診査診断の重要性、使用する材料の選択、インターディプリナリーの基づくチーム医療の大切さについて

講演されました。

3つ目は「コンポジットレジンが実現する究極のMI」（講師：田上順次先生、Dr.John K.Sullivan）で、本学会と姉妹提携しているAACDとのジョイントシンポジウムとして開催し、保存修復の観点から日米の考え方の違いを語っていただきました。

そして4つ目は「審美歯科における歯周疾患への対応」（講師：石川知弘先生、布川隆三先生）で、歯周疾患患者が獲得する審美のための条件と矯正歯科からのアプローチについて講演していただきました。

企画講演ではアメリカで活躍している日本の歯科技工士を代表して林直樹先生を招き、審美修復治療の実際について連携治療をしているホノルル在住の歯科医師Dr.Jon Y.Yoshimuraとのコラボレーション講演をしていただきました。さらに、教育講演として保存系、補綴系、矯正系、色彩系、インプラント系、歯周系の6つの分野において専門家の立場から審美歯科のエッセンスについて講演していただきました。また、歯科衛生士、歯科技工士のセッションを設け、歯科衛生士セッションでは人生のライフステージに合わせた審美修復のアプローチの仕方について、歯科技工士セッションでは形態美、色彩美、機能美の具現化をテーマにそれぞれ日本を代表する先生方にジョイント講演をしていただきました。

会員発表としてポスター発表を企画し、研究発表に45演題、症例発表に16演題のエントリーをいただきました。いずれ劣らぬ内容に審美学会のレベルの高さを感じました。なお、今回の学会では特に症例発表において、内容、プレゼンの美しさなどを評価して「Esthetic Award」を制定しましたが、橋場千織先生（はしば矯正歯科）と西田尚敬先生（大阪歯科大）のお二人が選ばれ、記念品が贈呈されました。



AACDのDr.Sullivan会長、日本歯科医学会の江藤会長、本学会幹部



世界的映画監督・河瀬直美氏と末瀬大会長

企業展示には、日頃より当学会にご支援をいただいている企業を中心に39社の出展を賜り、抄録集広告にも18社からご協力を賜りました。

10月8日のシンポジウム、講演、会員発表の終わった後は、メイン会場の能楽ホールにおいて奈良古来の伝統芸能 雅楽演奏(雅房)をお楽しみいただき、しばし幽玄の世界を堪能していただきました。そして、今回の学会のメインイベント?である懇親会は勇壮な和太鼓(生駒山麓太鼓)で幕を開け、地元名産品や地酒に舌鼓をうっていただき、サプライズとして総勢30名のチアリーディング(梅花女子大学・日本ナンバーワンの実力)で会場を最高潮に盛り上げていただきました。学会開催にあたって一番気になっていた天候もさわやかな秋空に恵まれ、庭園パーティーも終始和やかに過ごすことができました。

本学会開催にあたり物心ともにご支援いただきました関係企業様に厚く感謝申し上げますとともに、後援・協力組織としてサポートしていただきました社団法人日本歯科医師会、口腔保健協会、JTB西日本、奈良県新公会堂、インパクト株式会社、奈良県ビジターズビューロ、三宝印刷株式会社に対しまして心より御礼申し上げます。

最後になりますが、今回の学会が奈良というこれまであまりなじみのなかった地域での開催にもかかわらず、全国各地より600名に及び参加者のご協力を賜り、盛会に開催することができました。ひとえに参加していただきましたお一人お一人に感謝申し上げますとともに、大会長のわがまを終始温かく見守り、企画運営に誠心誠意ご協力いただきました準備委員会、スタッフの皆様方に衷心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

来年(2012年)7月に札幌でお会いできることを楽しみにしています。



能舞台が自慢のメイン会場



梅花女子大学チアリーディング部のパフォーマンス

SCADミーティング報告

SCADミーティング(シカゴ)に参加して

大阪大学大学院歯学研究科 中村隆志

本年(2011年)の9月にSCAD(Society of Color and Appearance in Dentistry、シカゴ)ミーティングに出席しましたので報告させていただきます。

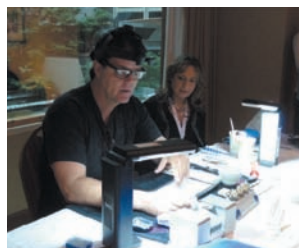
SCADは約2年前にIFED(国際歯科審美学会)に加盟した学会です。SCADは、色彩を専門とする学会であり、通常は国単位で参加するIFEDの中では珍しい存在といえます。日本歯科審美学会はIFEDの創立メンバーであり、SCADでも登録料が割引(300ドル引き)になるのも魅力的でした。

この学会は歯科でも色彩を専門とする学会ですが、色彩に関する講演だけでなく、CAD/CAMや歯冠色材料など一般的な審美歯科に関する講演も多くみられ、日本の歯科審美学会会員であれば、十分楽しめる内容だと思います。今回は初日の講演の前に、希望者を対象としたDr. Ed McLarenのデモが行われました。

学会は2日間にわたって開催されました。初日の昼食は、各種のテーマに関して、テーブルごとに選ばれた演者が解説する形式ですすめられました。ここでは、永井先生(ハーバード大学・元岩手医科大学)が演者をされていました。

日本人では明海大学の片山教授、そして先述の永井先生に加え、山本先生(ボストン大学)、セラミストのAki Yoshida氏などのボストン勢が参加されていました。

この学会は来年も9月にシカゴで開催され、Dr. David Garberをはじめとする著名な演者が講演する予定です。機会があればぜひ参加されるようおすすめいたします。



陶材築盛のデモを行うDr. McLaren



学会の司会はIFED前会長のProf. Nathansonであった

国際歯科審美学会報告

第7回国際歯科審美学会に参加して

大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 若林一道

11月2-5日に、第7回国際歯科審美学会(IFED)がブラジルのリオデジャネイロで開催されました。さすがにリオデジャネイロは遠く、関西国際空港(泉佐野市)→サンフランシスコ→ヒューストン→リオデジャネイロと片道12,500マイルの長旅で地球の裏側に行ってきました。本学会からは千田彰先生、鈴木真名先生(口演)、大川雅之先生(口演)、大河原純也先生(ポスター発表)、中村隆志先生(口演)が参加されました。

今回が初めてのIFED参加だったのですが、1:3のワイドスクリーン3面を経験し、その派手さに学会というより、映画やアートの本を見ているような感覚でした。

内容的には補綴、矯正、インプラント、保存修復など多種にわたっていましたが、ブラジルで最も著名な先生の一人であるNewton Fahl先生が講演されたこともあったかもしれませんが、ブラジルからはレジンを用いたMI治療の内容が多かったように感じました。

講演中に一つ驚いたことがありました。ボツリヌス菌を用いたしわ取り(ボトックス注射)に関する講演中での出来事なのですが、客席に何か質問をされ、皆さんが「Yes!, Yes!」と返されました。私は何のことかよくわかっていなかったのですが、演者の先生の「OK!」との声とともに次に出てきたスライドが、生首にボトックス注射する実習の動画であった時は、若干引いてしまいました。さすが国際学会です。何でもありで、色々なものを見ることができ、いい経験ができました。

ガラディナーもとても派手でバンドの生演奏もあり、出席者はとても明るくノリノリでダンスを踊られ、南米の夜を満喫さ



チームブラジルとチームジャパン

せていただきました。

約17、8年前にIFEDが設立されたかと思いますが、私は入局1年目で審美研究室(中村研究室)に配属となったこともあり、当時教授であった丸山剛郎先生に、「若林、IFED担当」と言われました。仕事内容は会議の書類を翻訳したり、世界中の審美学会の先生方に手紙を書いたりというものでしたが、現在のようインターネットやe-mailもそれほど普及しておらず、徹夜で一生涯懸念資料を作成したり、手紙を書いていました。その送付先が、Goldstein先生やGarber先生、Sheets先生等だったのですが、皆さん今なお活躍で、本学会でお会いすることができ、記念写真も撮っていただいたことが、今回の学会の中で最も嬉しいことでした。

学会会場はとても安全な場所での開催であり、特にトラブルに会うこともありませんでした。ホテルの前には美しい海岸もあり、機会があれば、もう一度行ってみたいと思っています。

今回は2013年にドイツのミュンヘンで開催されます。オクトーバーフェスタ期間中ですので、ビール好きの私は次回も是非参加したいと思っています。



Newton Fahl先生の講演



ご講演後の鈴木真名先生



Goldstein先生、Garber先生との記念写真

韓国歯科審美学会報告

韓国歯科審美学会 (KAED) 秋期ミーティング参加報告

九州大学大学院歯学研究院 篠原義憲

韓国歯科審美学会 (KAED) 秋期ミーティングが11月13日にソウル・COEXインターナショナルで開催されました。今回の大会には昨年同様、日本からは本学会国際渉外委員長である中村隆志常任理事(大阪大)、若林一道先生(大阪大)の阪大コンビと、本学会編集委員長である寺田善博常任理事(九州大教授)、同講座の永留初實先生と私という九大トリオで参加いたしました。他には東京より橋場千織常任理事も単独で参加されました。今回は国際学会ではなかったため、少人数での参加となりましたが、ともにJAEDとの交流促進という大いなる目的を持っての参加となりました。

大会では田上直美先生(長崎大)が、「Current aesthetic prosthesis based on minimal intervention concept」と題して、歯牙への侵襲を最小限に抑えながらも、患者の審美的要求を十分に考慮にいたした最新の補綴治療の現状について、症例を混じえて特別講演をされました。流暢な英語とエビデンスベースの発表に、場内は拍手喝采でした。他の発表は残念ながら韓国語での発表でしたので、深い内容は理解できませんでしたが、スライドから見る限り、立派な症例の発表が多く、韓国審美学会のレベルの高さを再認識いたしました。

会場は半数近くが若い女性で占められていたのが特徴的で、熱気につつまれており、韓国での審美歯科への関心の高さが垣間見られました。

学会終了後にはReceptionにご招待頂き、キムKAED会長はじめ多くの韓国の先生方と親睦を深めました。深夜までマッコリや焼酎JINROを飲みながら“ケンチャナヨなチング”に成ったのは紛れもない事実です。

機会がありましたらまた参加したいと考えております。



キム会長と日本からの参加メンバー



レセプション会場での記念撮影

優秀発表賞受賞者のご紹介

平成22年度優秀研究論文賞を受賞して

岩手医科大学歯学部歯科補綴学第二講座
北上インプラントデンタルオフィス 伊藤創造



この度は、平成22年度優秀研究論文賞を受賞し、たいへん光栄に思っています。選考して頂いた先生方に感謝申し上げます。また、受賞の盾を伝統ある能楽の舞台で頂きまして喜びもひとしおです。

選んで頂いた研究論文は「口腔インプラントの上部構造に応用するセラミックブロックの色彩学的検討」

をテーマにしたものです。口腔インプラント治療は、予知性の高い治療方法として認識されています。一方審美歯科治療への関心と期待が高まっており、口腔インプラント治療における審美性への期待も大きくなってきています。審美性を考慮した上部構造はオールセラミッククラウンの応用が考えられます。今回の研究はその中でもセラミックブロックからCAD/CAMにより歯冠形態を切削加工して製作するオールセラミッククラウンに焦点を当てています。この方法には多くの利点があるものの、色調構築に関してはセラミックブロックの色調に大きく依存しています。そこで背景をインプラントのアバットメント材料であるジルコニアとチタンに設定し、上部構造となるセラミックブロックIPS Empress® CAD LTの色彩学的検討を行いました。

結論としてはジルコニアを背景にしたセラミックブロックのL*値、C*値は天然歯と比較して高い傾向があり、チタンを背景にした厚さ1.5mm試料のL*値、C*値、a*値、b*値は天然歯と比較して低い傾向が認められました。また、チタンを背景にした厚さ2.0mm試料のL*値、C*値は天然歯データの範囲に入るシェードのセラミックブロックが認められるので、天然歯の色調を再現できるセラミックブロックのシェードが存在することになりました。

従って審美性を考慮した上部構造に、この方法で製作したオールセラミッククラウンを応用できる可能性を示しました。今後は実際のインプラント治療における上部構造に、この方法によるオールセラミッククラウンを応用し色調の検討を行うことで臨床の場での評価を行いたいと考えています。

最後になりましたが、ご指導賜りました石橋寛二教授に心から感謝申し上げます。

平成22年度優秀奨励論文賞を受賞して

新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野学 若松里佳



この度は、平成22年度優秀奨励論文賞に選出していただき、大変光栄に思っております。

今回受賞しました研究内容は、「新規歯面コーティング材塗布のアンケートによる審美的評価」というタイトルで、歯科審美学会誌第21巻第2号に原著論文として投稿し掲載されました。

レジン材料を直接歯面に塗布することにより即日で色調改善を図る歯面コーティング材の応用は、口腔内の審美性への要求や関心の高まりに応えつつ、歯質に対する浸襲を最小限に抑えた治療を実現しようものとして注目されています。

一方、歯面コーティング材には自然な色調回復が求められるとともに、術者にとっても塗布時の操作が容易であることが望ましいことから、本研究では、新たに開発された“ビューティコート”（松風）を被験材料とし、歯の色調に関する意識調査・歯面コーティング材塗布後の使用感および審美性について質問票調査を行いました。

質問票調査は新潟大学医歯学総合病院歯科受診患者および本学学生・歯科臨床研修医55名を対象に実施しました。

その結果、“ビューティコート”の審美性については主として「自然さ」の面で評価が分かれるものの、非侵襲性への高い要求にはおおむね合致するとともに、不快感が少なく好印象を与えうる審美効果が得られる材料であることが推察されました。

歯面コーティング材は単なる暫間的な色調改善だけでなく、審美効果による口腔内への関心の高まりにより、口腔健康意識の向上やさらなる審美的要望の契機となりうることから、患者とのコミュニケーションを通じて新たな治療提言へと繋がる可能性をもっています。

今後、その審美効果だけでなく接着性、耐久性、除去後のエナメル質の性状変化、操作性、患者心理などについての歯面コーティング材の意義を総合的に検討する必要があると思われます。

最後に、今回の研究にあたりご指導いただきました興地隆史教授、福島正義教授、竹中彰治先生に深く感謝致します。

デンツプライ賞を受賞して

岩手医科大学歯学部歯科補綴学第二講座 横山典子



このたびは第21回学術大会において、デンツプライ賞に選出していただき、大変光栄に存じます。

日本は高齢社会を迎え平均寿命が延びるとともに、残存歯数も増加傾向にあることが報告されています。過去に天然歯の色調分析に関する報告はあるものの、測色対象年齢を幅広く設定した天然歯の色調に関する

報告は少ないのが現状です。

そこで今回、Crystaleye Spectrophotometer®(オリンパス)を用いて健全上顎中切歯を対象に年齢、性別、部位について222名の天然歯の色空間の分析を行いました。

分析結果より、上顎中切歯の歯冠色は、加齢とともに明度が減少、赤味と黄色味は増加しそれに伴い彩度も増加することがわかりました。

性差は男性より女性は明度が高く、赤味、黄色味が弱いことがわかりました。

測色部位による違いは歯冠中央部において明度が最も高く、続いて歯頸部、切縁部の順で低くなる傾向を認めました。

赤味、黄色味については歯頸部において最も高い値を示し、歯冠中央部、切縁部の順で低くなる傾向を認めました。以上より、天然歯の色調は年齢、性別、部位についてそれぞれ特徴ある色空間を有していることがわかりました。

今後はさらに多くの被験歯の測色を行うと同時に分析する歯種も増やし、検討を行っていく必要があると考えています。

最後に本研究のご指導ならびに発表させていただく機会を与えてくださいました岩手医科大学石橋寛二名誉教授をはじめ、研究にご協力くださった諸先生方に感謝の意を表しますとともに、厚く御礼申し上げます。



委員会報告

歯科審美編集委員会

私は平成18年4月から長岡英一前委員長のあとを受けて編集委員長をお引き受けいたしました。今年で3期6年目になりますので、ここ数年の「歯科審美」を振り返ってみたいと思います。

平成18年度第1回編集委員会を平成18年6月に開催いたしました。この委員会では、9月発行予定の第19巻1号の編集作業を行いました。前委員会ですでに決まっていたのですが、第19巻からA4版に変更になりました。また、内容についても第15回学術大会から、講演論文の提出義務を廃止し、口演・ポスター発表の演者に事後抄録の提出を義務づけることになりました。この変更により自動的に講演論文が集まらないこととなりますので、紙面充実について検討が進められました。論文の区分として、原著論文、臨床論文(症例報告、各種術式、臨床のヒントなど)、総説、特集、誌上セミナーなどをとりあげることになりました。さらに、19巻1号からは「審美歯科関係外来紹介」をとりあげることとし、昭和大学と新潟大学をお願いいたしました。また、20巻からは特集記事の掲載をはじめ現在に至っております。

機関紙「歯科審美」の発行については、年2号(9月と3月)発行しています。平成23年9月20日発行の第24巻1号についてはすで発行され、平成24年3月20日発行の第24巻2号の編集作業が現在進められております。

これからも広報活動を活発に行っていきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見を皆さんから頂きたいと思っております。よろしく願いいたします。(委員長 寺田善博)

国際渉外委員会

10月に奈良で開催された第22回日本歯科審美学会学術大会(JAED・末瀬大会長)では、姉妹協定を結んでいるAACD(American Academy of Esthetic Dentistry)からSullivan 会長をお迎えし、田上JAED元会長とMI修復に関するジョイントシンポジウムを開催しました。この他に、奈良大会ではAAAD(アジア歯科審美学会)の役員会を開催しました。この会議は、来年のAAAD・JAED札幌大会を見据えたもので、インドネシア、韓国(KAED)、シンガポール、台湾、中国、マレーシアから役員が参加され、久光AAAD会長、田上直美・国代表(長崎大・新任)、中村AAAD総務らとともに討議を行いました。

11月には、IFEDリオデジャネイロ大会(2-5日)、KAED年次大会(13日・ソウル)が開催され、日本から国際渉外の中村および田上直美先生が講演を行いました。

AACDやKAEDとは論文の交流も行っており、歯科審美24巻

1号にAACDおよびKAEDより投稿された臨床論文が掲載されています。ぜひご一読ください。また、日本から投稿した症例報告がAACDおよびKAEDの学会誌に掲載されました。

2012年のAACD年次大会(2012年5月・ワシントンDC)には演者として林美加子先生(大阪大)と宮前守寛先生(大阪府)を派遣する予定です。機会があれば、日本の会員の方々にも参加いただきたいと思います。(委員長 中村隆志)



奈良大会の懇親会。Sullivan AACD会長と通訳をつとめた脇智典先生(国際渉外委員・東京都)。韓国歯科審美学会Mung-Jin Kim会長(左)と末瀬大会長(右)。奈良大会のポスターセッションにて。

.....

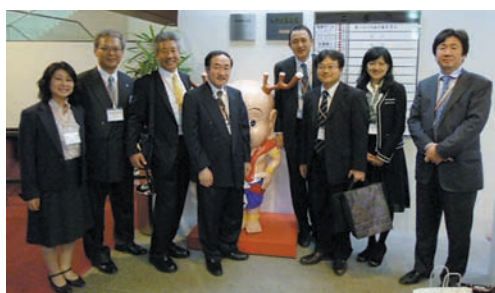
認定医審議会・認定士審議会

前回のニュースレター(2011 Summer Vol.23)以降の活動をご報告いたします。

1. 平成23年6月25日(土) 平成23年度第1回合同会議
 - 1) 第29期認定医申請者の書類審査：2名審査、2名合格
 - 2) 第12期認定士申請者の書類審査：歯科衛生士2名審査、2名合格
 - 3) 認定医更新希望者の書類審査：3名審査、3名合格
2. 平成23年8月6日(土) 平成23年度第2回合同会議
 - 1) 第29期認定医審査(症例提示および口頭試問試験)：3名受験、3名合格
 - 2) 第12期認定士審査(症例提示および口頭試問試験)：2名受験、1名合格、1名保留
 - 3) 認定医更新希望者の書類審査：1名審査、1名合格
 - 4) 第30期認定医申請者の書類審査：11名審査、10名合格
 - 5) 第3回認定医審議会・認定士審議会合同会議日程(第22回日本歯科審美学会学術大会)詳細について
3. 平成23年10月7日(金) 平成23年度第3回合同会議
・現委員に加えて宮内修平、齊木好太郎、武井典子各副会長、田島菜穂子常任理事の参加協力を得て第22回日本歯科審美学会学術大会(奈良)にて開催
 - 1) 第30期認定医審査(症例提示および口頭試問試験)：11名受験、10名合格

2) 今後のスケジュールについて

- ・第31期認定医試験申請受付期間：平成23年10月3日(月)～28日(金)
 - ・書類審査：平成23年12月8日(木)
 - ・症例提示および口頭試問試験：平成24年2月11日(土・祝)・12(日・予備日)
- ※役員の方には是非ともご申請くださいますようお願いいたします。
(委員長 富士谷盛興)



セミナー委員会

平成22・23年度セミナー委員会は、越智守生先生、柵木寿男先生、有田博一先生、古谷彰伸先生、六人部慶彦先生、若林一道先生に委員をお引き受けいただき、三つの目標を掲げてスタートいたしました。第一は歯科審美学の高度な専門的知識や技術を持つ歯科医師、技工士、衛生士を育てること、第二は多数輩出しているホワイトニングコーディネーターのフォローアップを行うこと、第三はそれぞれ独自に活動していた学術関連の各種委員会を再編し、委員会間の連携を密にして効率的かつ効果的なセミナーを開催することです。

この目標にかなったセミナーを開催するべく、総合テーマを「これからの歯科審美の道標」と掲げ、企画、運営に際してはセミナー委員の先生方大変なご苦労と、関係各位に多大なご協力をいただきました。その結果、開催したどの回にも多数の参加者を得て、非常に充実したセミナーとなりました。紙面をお借りし、ご協力いただきました方々に心よりお礼申し上げます。現在までに開催したセミナーは以下の通りです。

《平成22年度》

●第1回セミナー(ホワイトニングコーディネーター講習会併催)

【日時】平成22年9月26日

【場所】東京ベルサール汐留

【テーマ】ホワイトニングアドバンスセミナー「ホワイトニングの最前線を学ぶ」

【参加人数】 234名

●第2回セミナー

【日 時】 平成22年11月28日

【場 所】 東京歯科大学水道橋病院ホール

【テーマ】 「審美領域におけるインプラント治療の最前線を学ぶ」

【参加人数】 95名

●第3回セミナー

【日 時】 平成23年3月13日

【場 所】 日本歯科大学生命歯学部 富士見ホール

【テーマ】 「保存補綴領域を中心とした多面的な歯科審美臨床の最前線を学ぶ」

【参加人数】 159名

《平成23年度》

●第1回セミナー（ホワイトニングコーディネーター講習会併催）

【日 時】 平成23年6月12日

【場 所】 大阪梅田スカイビル

【テーマ】 ホワイトニングアドバンスセミナー@大阪「ホワイトニングの最前線を学ぶ」

【参加人数】 162名

●第2回セミナー（ホワイトニングコーディネーター講習会併催）

【日 時】 平成23年9月11日

【場 所】 福岡JR博多シティ

【テーマ】 ホワイトニングアドバンスセミナー@福岡「ホワイトニングの最前線を学ぶ」

【参加人数】 165名

●第4回セミナー開催予定

【日 時】 平成24年1月29日(日) 9:30～16:30

【場 所】 愛知学院大学歯学部楠本キャンパス110周年記念講堂

【テーマ】 「審美修復治療を成功させるために保存、補綴、衛生士、技工士それぞれの立場ですべきことは」

このニュースレターが発行される頃にはすでに終了しておりますが、平成23年11月13日には東京ベルサール飯田橋ファーストにおいて、テーマを「歯科の色彩と審美歯科」とした第3回セミナーを、デンタルカラーコーディネーター委員会との共同で開催いたします。このセミナーも告知早々に満席となる参加申し込みをいただき、重ねてお礼申し上げます。

第4回セミナーは次期会長、千田彰先生のご協力で愛知学院大学のホールをお借りし、佐藤亨現会長の今期最後を飾り、次期に引き継ぐにふさわしい総合的な歯科審美セミナーにしたいと

考えております。皆様の参加を心よりお待ちしております。
(委員長 日野年澄)



平成23年度第2回セミナーの様子 第2回セミナーでの会長、講師、ホワイトニングコーディネーター委員、セミナー委員の先生方

.....

ホワイトニングコーディネーター委員会

ホワイトニングコーディネーター講習会の受講者数は、平成23年11月13日(日)東京で開催された第23回までで、7,900名を超えました。全国の多くの歯科衛生士の方々がホワイトニングの正しい知識を身につけ、ホワイトニングコーディネーターとなり、患者さんの笑顔を引き出しているのではないかと思います。

これまでの受講者数やWC講習会での姿勢からも、資格取得に対する関心の高さが伺えます。今年度は、第24回となる平成24年1月29日(日)／名古屋(愛知学院大学にて開催)が最後の講習会となりますが、そちらもすでに満席となりました。

来年度以降もホワイトニングの正しい知識を伝えるべく、WC講習会を通じて、より多くの歯科衛生士がホワイトニングコーディネーターとして活躍できるよう、企画、開催していきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。
(幹事 酒井麻里)



デンタルカラーコーディネーター委員会

11月13日(日)、10時から16時半まで、ベルサール飯田橋ファースト(東京)において、平成23年度・第3回セミナー「歯科の色彩と審美歯科」が開催されました。

このセミナーは、デンタルカラーコーディネーター委員会・セミナー委員会が企画し、日本歯科色彩学会の協力を得て開催されました。

当日は142名の参加者を得て、池見卓司日本歯科色彩学会長(日大松戸歯科修復学教授)の挨拶、佐藤 亨会長の基調講演、中澤章先生(東京都開業・東京歯科大クラウンブリッジ補綴学講師)『歯科における色彩のコミュニケーションを円滑にするために』、馬場一美先生(昭和大学補綴学講座教授)『デジタル時代の審美補綴－審美性と予知性』、田中誠先生(愛歯技工専門学校)『製作工程と色彩Ⅰ』、吉田周平先生(クリスタルデント)、『歯の色と歯科審美Ⅱ』、武井典子先生(副会長)『歯科の色彩と歯科審美～歯科衛生の視点から～』の内容でした。本セミナーは、本会として初めて 歯科の色彩と銘打ったセミナーであり、日本歯科色彩学会の協力のもと 池見先生の挨拶、中澤先生に話をしていただけのことです。

今後の課題として、歯科の色彩について、歯科色彩学会と連携しながら歯科技工士の参加人数をふやす企画・内容の検討が必要と思われました。(委員長 東光照夫)



歯科技工士部門

歯科技工士部門の活動の一環として、日本歯科審美学会認定士(歯科技工士)編集および著による「審美 歯科技工の原理原則」(FUNDAMENTALS of Esthetic Dental Technology)を医歯薬出版社「歯科技工」の別冊の形で2009年(平成21年)に発行したことは概に報告させて頂いた。その続編として、今年8月に「前歯部審美技工テクニカルガイド」-6前歯の"見せ方"を変える、形態と色彩のアイデアと工夫-を前回と同じく医歯薬出



版社「歯科技工」の別冊として発刊させて頂いた。

前編が歯科技工士に必要な歯科審美に関わる概念と技術の基本が総括されたマクロ的な内容であったのに対して、本別冊は、より具体的な内容で歯科審美修復装置として最もその影響がある上顎6前歯部のフィールドでその形態と色彩を掘り下げミクロ的な視点で述べられている。

第1章では上顎前歯部における形態および形態修正の

基本、また第2章では、明度、彩度、色相に分けた色彩の基本が記されている。これにより上顎前歯部における形態と色彩再現の基本が理解できる。そして、第3章ではQ&A形式で作業模型の製作、咬合器に対する考えと手法、さらに、現実的な目的を持った1歯1歯の形態修正、歯肉形態と歯冠形態の関連、歯列感を変える形態修正、口蓋側面と下顎運動(中間運動)との関連など、同一材料を使用して各クエション項目を臨床に即して如何にクリアーしてゆくかなど大変ユニークで、特に若い歯科技工士方にはとてもご理解しやすい内容となっている。本別冊は、いずれも日本歯科審美学会の若い会員方に執筆頂きましたので、その方々にもよい経験となり今後の活躍が期待されることです。

今後、日本歯科審美学会会員として「歯科技工士セミナー委員会」とも連携しながら、歯科審美学、審美歯科治療の啓蒙と普及を歯科技工士の分野でより図りたいと思いますので宜しくお願いいたします。
(副会長 齊木好太郎)

表彰委員会

【表彰選考委員会関係】

本年10月に開催された学術大会総会において、次の5名の会員が表彰されました。平成23年度学会功労賞：桑田正博先生(愛歯技工専門学校・クワタカレッジ)、佐藤二三江先生(佐藤歯科医院)、平成22年度優秀研究論文賞：伊藤創造先生(岩手医科大学歯学部歯科補綴学第二講座；発表時)「口腔インプラントの上部構造に応用するセラミックブロックの色彩学的検討」、平成22年度優秀奨励論文賞：若松里佳先生(新潟大学大学院医歯学総合研究科う蝕学分野)「新規歯面コーティング材塗布のアンケートによる審

美性評価」、優秀発表賞(デンツブライ賞)：横山典子先生(岩手医科大学歯学部歯科補綴学講座；発表時)「加齢に伴う天然歯の色空間について」。優秀臨床論文賞は該当者がありませんでした。

【表彰委員会関係】

表彰の対象となる年度や掲載誌、表彰資格等についての規則改正を行いました。第3条の各賞の審査対象について、「推薦・応募年度を含む」を削除して「表彰前年度」を明記し、第4条第2項の優秀論文賞の対象者について、「筆頭著者であること」としました。今後も、必要な見直しを行って、より良い制度にしていきたいと考えていますので、ご支援のほど宜しくお願いいたします。(委員長 長岡英一)

.....

広報・編集委員会 ホームページ・ニュースレター作業部会

早いもので2年間の任期も残り僅かとなってきました。ホームページ・ニュースレター作業部会は編集委員会と共同して広報関連の仕事を進めております。

ホームページについては、昨年6月に全面改訂作業を実施したのを皮切りに、学会履歴を同一フォーマット化し、ニュースレターやセミナーの記録を閲覧可能にするなど、内容の充実を図って参りました。本年度はさらに補正予算をいただき、英文ホームページの改修、会員のみを対象としたブログ形式での情報交換の場の提供、またボタンの配置や大きさにも工夫をしました。これでホームページの全面改訂作業が何とか一区切りついたところですので。委員の先生方はもちろんですが庶務の大槻昌幸先生を始め多くのご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

ニュースレターについては、ほぼ定期に2巻の発行を終えることができました。先ずは多くの会員、寄稿者の皆様に感謝申し上げます。ニュースレターは会員とホワイトニングコーディネーターを読者対象とすることが決定しております。

昨年の学術大会から研修履歴が会員専用ページから閲覧できるようになりました。誤りがないかどうかを各自でご確認いただけますようよろしくお願い申し上げます。(委員長 佐藤博信)

.....

会員数・認定医および認定士数(2011年10月31日現在)

【会員数/4,043名(社)】

A会員(歯科医師) / 2,560名

B会員(歯科技工士、歯科衛生士等) / 1,452名

賛助会員 / 31社

【認定医(歯科医師)数/98名】

【認定士(歯科技工士、歯科衛生士)数/62名】

賛助会員一覧

相田化学工業株式会社

相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



アストラテック株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1
八重洲口大栄ビル12F
Tel: 03-3243-5055
<http://www.astratech.jp>

石福金属興業株式会社

石福金属興業株式会社
〒101-8654 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24 4F
Tel: 03-6903-3535
<http://www.ivoclarvivadent.jp>



ウルトラデントジャパン株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-15
ATビル2F
Tel: 03-3437-0751
<http://www.ultradent.com/>



株式会社エイコー
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-3834-5777
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>

長田電機工業株式会社

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
Tel: 03-3492-7651
<http://www.osada-electric.co.jp>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<http://www.quint-j.co.jp/>



グラクソ・スミスクライン株式会社
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15
GSKビル別館9F
Tel: 03-5786-5012
<http://glaxosmithkline.co.jp>



クラレメディカル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル
Tel (フリーダイヤル): 0120-330922
<http://www.kuraray.co.jp/dental>

サンメディカル株式会社

サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (お客様窓口): 0120-416480
<http://www.gcdental.co.jp/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



シロナデンタルシステムズ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5F
Tel: 03-5148-7895
<http://www.sirona.co.jp>



スリーエムヘルスケア株式会社
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1
Tel (フリーダイヤル): 0120-332329
<http://www.mmm.co.jp/hc/dental/index.html>

 タカラベルモント株式会社

タカラベルモント株式会社
〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋2-1-1

Tel: 06-6212-3619
<http://www.takara-dental.jp>



デンツプライ三金株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10

Tel: 03-5114-1001
<http://www.dentsply-sankin.com>

 株式会社 東京技研

株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13

Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>

 Tokuyama Dental

株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel: 03-3835-2261
<http://www.tokuyama-dental.co.jp>

 NISSIN

株式会社ニッシン
〒604-0847 京都市中京区烏丸通二条下ル
秋野々町513
Tel: 075-257-7255
<http://nissin-dental.jp>

 白水貿易株式会社

白水貿易株式会社
〒532-0033 大阪市淀川区新高1-1-15

Tel: 06-6396-4400
<http://www.hakusui-trading.co.jp/>



株式会社ハーマンズ
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-10-10
若葉西ビル4F
Tel: 03-3770-0863
<http://www.hermans1984.co.jp/>

 Dent Wave.com

プランネットワークス株式会社
〒104-0042 東京都中央区入船2-1-1
住友入船ビル1304
Tel: 03-3523-4188
<http://www.dentwave.com>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17
レ・ジュ大井町6F
Tel: 03-5746-0316
<http://www.j-pentron.com/>

MOKUDA

株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5

Tel: 078-303-8241
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-8691 大阪市天王寺区南河堀町6-35

Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18

Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>

 株式会社 ヨシダ

株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

Tel: 03-3845-2971
<http://www.yoshida-dental.co.jp>

サウスコーストデンタル株式会社

パナソニックヘルスケア株式会社

メディア株式会社

知覚過敏抑制材

ウルトラライズ

ホワイトニングが **痛い**、なんて
言わせない!

歯を白くしたい!!
でもホワイトニングは痛みがあって…

そんな患者様の声、聞いたことがありますか?
ウルトラライズはそんな声をなくすお手伝いをします!

*ホワイトニング先進国、アメリカで行われたホワイトニングによる知覚過敏に対する実験では、ホワイトニング患者約50%に痛み・知覚過敏症状が現れ、その痛みが生じた患者様へウルトラライズをホワイトニングと併用してもらったところ、**90%の患者様が痛みを抑えることができた**という報告があります。

* Van B. Haywood, et al: Tray delivery of potassium nitrate-fluoride to reduce bleaching sensitivity.

UltraEZ

UltraEZ

UltraEZ

Simple is the **BEST!!**

- ▶ ホワイトニングで使用しているトレーをそのままご使用いただけます!
- ▶ ホワイトニングの前後に使用することでホワイトニングによる痛みを軽減!



医療機器認証番号: 223AKBZX00097000

ウルトラデントジャパン
ULTRADENT
JAPAN 株式会社

〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-7-5 初台村上ビル4F
TEL: 03-5365-1760 FAX: 03-5365-1759
第一種医療機器製造販売業 許可番号: 13B1X10086

<http://www.ultradentjapan.com>

 0120-060-751

さらに進化した3つのニューモデル



被写体を明るく鮮明に
映し出すハイスペックな
光学レンズシステムと
ビデオ出力機能[※]を
標準装備

PRECISION MICROSCOPE
BrightVision®

NEW ブライトビジョン4000 シリーズ

¥1,950,000 (ハロゲン照明・CCDカメラ内蔵)

一般医療機器 機械器具 25 医療用鏡 可搬型手術用顕微鏡 (36354020) 届出番号: 13B2X00022000033号

NEW ブライトビジョンLED 5000 シリーズ

¥2,300,000 (LED照明・CCDカメラ内蔵)

一般医療機器 機械器具 25 医療用鏡 可搬型手術用顕微鏡 (36354020) 届出番号: 13B2X00022000043号

※ CCDカメラ設定なしモデルもございます。

コンパクトな
デザインと、
コストパフォーマンスを
両立したエントリーモデル



PRECISION MICROSCOPE
BrightVision®
Compact

NEW ブライトビジョン コンパクト

¥1,250,000 (LED照明・CCDカメラ設定なし)

一般医療機器 機械器具 25 医療用鏡 可搬型手術用顕微鏡 (36354020) 届出番号: 13B2X00022000045号

価格は2011年12月現在の標準価格です。(消費税は含みません)

製造販売元: **ペンタロン ジャパン株式会社**

〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17 レ・ジュ大井町 6F
TEL.03-5746-0316 FAX.03-5746-0320



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY
発行人/佐藤 亨

編集/日本歯科審美学会 広報・編集部会

印刷/三宝印刷株式会社

日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/